

松江養護学校PTAだより

令4年度 第2号
令和4年11月16日
松江養護学校
PTA広報部発行

第2回PTA役員会を開催しました。

<乃木校舎>9月30日(金) 乃木校舎多目的室

○PTA環境整備および防災イベントについて

内容の確認および役割分担、来年度への引き継ぎ事項の確認を行いました。

○PTA進路研修会(11月2日実施)について

内容の検討および確認を行いました。

○その他

- ・乃木校舎単独での役員会を集まりやすい会にするためには…と話し合いました。
- ・リユースの周知は、衣替えのタイミングに行ったり、保護者の来校時に展示したりしてはどうか等の意見が出ました。

<川津校舎>10月3日(月) 川津校舎会議室

○松江市手をつなぐ育成会とコラボした研修会開催

子ども家族を守る警察との情報交換(10月19日)
性教育座談会(11月30日)

○「病児・病後児保育制度」アンケート結果について

結果報告及び感想など報告していただきました。

○松養まつり「遊びコーナー」企画運営について

中庭で大型遊具を使用して行うなど企画しました。



リユース活動(川津校舎)を行って…

9月の参観日に併せて第1回目のリユースを行いました。いかがでしたでしょうか。8月25日に第1回リユースに向けてPTA学校行事部のみなさんでリユースの会をしました。



楽しく作業できた。制服は初めて見た。体操服は様々な種類があり、歴史を感じた。いい会だった。



今までの表示より見やすくなった。たくさんの保護者に見てもらい、持って帰ってほしい。

初めて活動に参加した。分ける種類が多かった。次の人に使ってもらえると思うと楽しく作業できた。



初めて役員になり、みなさんとおしゃべりをしながら楽しくできた。

子どもは今、高3年生なので服を出すことができると助かる。お役に立てればよ



準備に初めて参加した。楽しく、お話ししながら、考えながら行った。

リユースに出して子どもの服が、多くの人に着てもらえるのがうれしい。

島根県特別支援教育振興大会 島根県特別支援教育 PTA 研修大会 於：邑南町健康センター元気館 8月19日

今回のテーマは「これからの特別支援教育の魅力化と更なる充実発展に向けて」でした。

当日、前半は4つの分科会に分かれ、テーマごとに話し合いをしました。その後の後半は全体で集い発表する流れでした。その場で島根県教育委員会に要望を伝えました。この大会では、過去にはスクールバス、福祉タクシーによる通学支援、合理的配慮アドバイザーの配置などの要望が実現しました。

私の参加した分科会では「高校卒業の進学先、就職先の進路保障や支援サービスの充実」について話し合いましたが、「重度の自閉症なので職場で対応してもらえるか心配」等、個別の課題が出ました。就職先に支援員を配置する等、卒業後の支援向上を要望にして、浜田養護学校の保護者の方に代表で発表してもらいました。

沢山の意見を聞いて自分自身参考になり参加して良かったです。

(PTA 会長 酒井博章)

去る8月19日、邑南町で行われた PTA 研修会に参加し、第2分科会の「小中学校及び高等学校における支援体制の充実について」、「保護者の相談の場や機会の充実と、関係機関の連携による乳幼児期からの切れ目ない支援体制の充実について」のテーマで、グループに分かれて話しました。私は5人のグループで色々なお話をしました。

第1テーマは通学支援・教師の数(通級指導教員)・情報共有の場になりました。第2テーマは関係機関(教育センターのような場所)を増やす、切れ目のない支援(子どもをずっと見てくれる存在)を地域・変わらない先生が必要!成長歴の共有になりました。

同じ島根に住んでいるのに、東部と西部で支援の幅が違うことにとっても驚きました。必要としている子供達、保護者さんが安心して生活できるような支援が、県と市町村の垣根を越えて実現して欲しいと思います。

分科会に参加できて良かったです。

(PTA 副会長 糸賀真由美)

親のつぶやき

息子は2歳頃から自由なカイジウに変身。

お水が大好きで1日4回お風呂に入り、銭湯に行けば水風呂に大興奮。真冬の海もへっちゃんらキャーキャー喜んで遊び、家でも水シャワー。外では洋服を着てくれたけど、家も車の中でも寝るときもオムツ1枚。ほとんど裸族、いや、もうアメリカ〜。

でも、うちの裸族は冬には手袋&ジャンパーは必須でまるでスーツを着るかのようなキメ具合で装備して外出。遊ぶは走るはで、汗だくになっても離さない、脱がない。毎年夏までにどうやって、あの装備を取り上げてやるのか?と考えていたなあ。偏食も始まり同じ物しか食べなくなり、こだわりも発動、切り替えが出来なくてパニックの嵐、こっちもパニくる。一緒にパニック。

かわいこボクちゃん、うちなりに他にも色々大変だったよね。これからも一緒にこだわりながら、ゆっくり、のんびり、穏やかに、お互いに成長していこうね。

(PTA 広報部 竹田ひと美)



親のつぶやき

コロナ前は毎年家族で旅行へ行っていました。でも、コロナになってからは旅行へは行けていません。旅行ではないけど、上の子供が進学で県外に行っていたので、その子のアパートに泊まりに行く事はあったものの、周りの人にはなかなか言えませんでした。県外に行った後の2週間はドキドキしながら過ごしていました。

最近は、規制緩和で県外との往来もしやすくなったけど、まだまだ、大手を振ってとはいかないです。

コロナがなくなる事はないと思うけど、また皆で楽しく旅行がしたいです。

(PTA 広報部 安部美里子)



PTA 進路研修会

9月28日に小～高等部の保護者、先生方とで、八束町にある事業所「らいとあっぷ」に訪問させていただきました。

就労Aの利用者さん、就労Bの利用者さんそれぞれの作業の姿を近くで見学でき、ぼたんの苗木整理、レタス畑の草とりをまつよう卒業生の「働く」姿に、わが子と重ねたり、その場での保護者同士で語り合ったり、和やかな研修風景でした。

「百聞は一見にしかず」実際に見ることでいろいろな視点で勉強になりました。今回の「らいとあっぷ」は立ち上げ1年で、利用者平均工賃が約3万円を越えているということでかなり企業努力はされて、利用者さんの可能性をうまく引き出されていると思いました。

ただ、就労Bの事業所が、みな同じように工賃だけを上げることが第一になると、そのレベルではない利用者さんは、もっと自分に合った就労Bの事業所を知る必要性があるのでは？自分が自分らしく働ける大人になるためにと親として感じた日でした。

(PTA 進路研修部 青山理恵)



親のつづやき

ダウン症をもって産まれた息子は、成長・発達がとてもゆっくりです。小さい頃から、早く首がすわらないかな～、歩けるようになるのはいつかな～と、「早く〇〇出来るようになってほしい」と願う事がとても多かったです。

私の中ではまだまだ小さくてかわいい息子ですが、成長とともに、ゆっくりではありますが、少しずつ出来るが増えてきました。最近、たまに少年らしさも垣間見えるようになってきて、「ああ、もう中学生になったんだなあ」と、しみじみ思うこともあります。

あれだけ願っていた成長なのに、いざ実感すると少しさみしくもあり…。

でも〇〇も出来るようになってほしいな～と、気持ちが複雑！！な今日この頃です。

(PTA 広報部 倉本あゆみ)



はがき3枚(約100円)で
1㎡の地雷原を撤去できます

松江養護学校でも書き損じのハガキを集めます！

本校正面玄関に設置した回収ボックスに入れてください。または、子供さんを通じて担任にお渡しください。

締切り 1/20(金)

一人一人の小さな力を、合わせて、
カンボジアに届けよう！

～環境整備 in 乃木校舎～

10月22日に乃木校舎でもPTAと教職員の総勢39名で、環境整備として溝掃除と草取りを行いました。溝には土嚢袋40個以上がいっぱいになるほどの土がたまっていたが、すっかり綺麗になりました！

校庭も草がなくなり、体育の授業やサッカー部が活動しやすくなりました！



ご協力ありがとうございました。



～環境整備 in 川津校舎～

10月22日に保護者の皆様にお集まりいただき、総勢140名で環境整備作業を行いました。

今年度もコロナウィルス感染症対策のため、児童生徒の参加はなく、保護者さんと教職員で、時間を短縮しての実施となりました。来られた保護者さんから校庭の除草に取りかかっていたりなど、時間を有効に使って作業していただきました。校庭に生えた雑草もずいぶん無くなり、体育や部活動のサッカーも気持ちよくできることと思います。また、校庭の竹林側のフェンスの溝など、落ち葉が溜まって排水が行き止まっていたのですが、今回、きれいに取り除いていただきました。



多くの皆様にご協力をいただいたことで、気持ちのよい学習環境で学校生活を送ることができます。本当にありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。



※「非常食試食会の様子」については、第3号に掲載します。

親のつぶやき

小学部3年、彼のことを少しだけ書きます。

スミスマグニス症候群、彼の病名です。国内100人ほどの指定難病です。発達遅延も癩癩も自傷行為も全部そのせいらしいです。声が枯れるほどパニックになってひっくり返る事もあるし、怒って部屋の電気を消したりガラスを割ったり、ご飯をバラまいたり。最近のブームは爪はぎ。でも、悪い事ばかりではありません。この病気が落としてくれたユーモアセンスと愛嬌でドコでも愛されキャラで可愛がられています。←図々しく自分で言いました。天使と悪魔、飴と鞭です。

5歳位から、私は毎日の生活の中で楽しい事を拾って、書き留めるようになりました。その頃は余りに悪魔の時間が長く、気が滅入っていたのでその天使エピソードを何度も読んで自分を励ましていました。

段々と連絡帳で先生と共有しはじめ、その習慣が未だに続き、今や毎日連絡帳に書いています。

気が狂いそうな毎日にご褒美のようにやってくる爆笑の瞬間。

絶妙の言葉と言い方、タイミング。クセになります。

楽しいや可愛いをたくさん拾って、これからも書き続けたいと思います。

(PTA 広報部 五百川いずみ)

読者(上)の前後が分かりやすいようにマークを書いていたのですが薄くなってきたので



夕食時に、おしゃべりが止まらなくなってしまって



賢い。こういう所で知恵を発揮するなし。

Instagram @SMS_HITOKIN500

広報部 PTA だより編集作業の景色



原稿のパソコン入力や写真の選定を行いました。親のつぶやき原稿をお互いに読み合ったり、確認し合ったりしながら和気藹々と作業を進めていただきました。

五百川いずみさん、竹田ひと美さん、倉本あゆみさん、安部美里子さん第2号編集に関わっていただきました。